

コスモシアター 学習用プラネタリウム番組(全天周デジタル番組)

コスモシアターではこどもたちの理科教育のお役に立てるよう、学習用番組の投影も行っております。学校の授業中では扱づらい天体も、プラネタリウムを使えば、視覚、感覚の両面から天体、星というものをとらえることができ、学習効率の向上が望めます。

これからご紹介する学習用番組は、難しいことにかたよることなく、こどもたちが興味をもって見れるような内容になっています。

スタジオ444 (空のふしぎをさぐれ) 小学校4年生向け 投影時間:約25分



にぎやかなキャラクターと一緒に、空のフシギを観察。月や星のことを楽しく学びます。

発展的内容として、宇宙空間から月の満ち欠けのしくみを観察するほか、月探査機「かぐや」のハイビジョンカメラで撮影した「地球の出」をドームいっぱいに映し出すなど、デジタル機器の機能を活かした新しいタイプの学習番組となっています。

登場するのは、小学校4年生の「ヒカルくん」と「ハルカちゃん」、それに星空トレーナーの「シロウお兄さん」。月や星を観察したり、クイズに挑戦したりしながら、空のフシギを楽しく探っていきます。

事前にご予約いただきますと、希望の星空(約15~20分)もご覧いただけます。

ぼくたち惑星8兄弟 小学校低学年向け 投影時間:約20分



私たちの太陽系には、地球を含めていくつの惑星があるか知っていますか？

太陽先生の授業で、惑星の順番や大きさ、性質の違いを、惑星兄弟の歌などを交えて楽しく学びます。

今日も元気にいってみよー！

宇宙どこまであるの？物語 小学校高学年向け 投影時間:約20分



地球を出発した視点は太陽系を巡り、星座の世界を紹介しながら銀河系の外へ...

銀河は群れを作りながら宇宙の大規模構造を構成していく。宇宙の大きさは？果てはあるのか？

地球から出発した視点は太陽系を巡り、星座の世界を紹介しながら銀河を外側から眺む。その銀河が集まり、局所銀河群、銀河団、超銀河団が構成されていく。

いつの間にか宇宙は泡の集まりのような大規模構造を私たちにを見せてくれている。

宇宙の大きさを感覚的にとらえるため、小さなスケールから積み上げて最大まで説明していきます。

所々に分かりやすい比較例も交えながら、広大な宇宙のイメージを伝えます。